



日刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話{(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222) 7207番}

93.10.13 No.3873



功労者と夫人に一人ひとり記念品
が贈呈される

共に二五年間闘いぬいてきた功労者
の皆さん

功労者慰労会 盛大に開催



組合功労者慰労会 国鉄千葉動力車労働組合



後列左より、加納昭君、林利明君、多田正雄君、
伊藤隆君、西本泰通君、椿勇君、前列左より、
加納よし子さん、中野委員長、椿寿々子さん

十一月一〇日、一三時から、千葉市・ホテル「サンシティ」において、不当解雇された組合員の勤続二十五周年を祝う「組合功労者慰労会」が開催されました。今回は、六名の方が対象者として参加し（写真参照）、その外各支部からの代表者を含め四〇名が集い、会食をしながらの和気藹々とした一時となりました。

功労者六名には記念品と金一封が手渡され、これまでの労をねぎらいました。

最後に、椿勇君から「ここまで來ることができたのも各支部の皆さんのおかげです。これからも頑張る決意です」というあいさつを受けて、参加者中最年少の後藤俊哉君の音頭で団結ガンバローを三唱し、慰労会を終了しました。

**勝浦駅①番撤去工事
要員措置を行ふ。**

勝浦駅のホーム増設工事が始まっている。これに伴って、一旦①番線が撤去され、停留車両が大原駅に回送されることになる。この構内切換工事は、今後二年間あまりにわたって、④番線も順次撤去して新たに敷きなおされる予定になつており、その度に停留車両の回送が発生する。

当然にも、新たに発生する業務に対し、要員措置が行われなければならない。しかし当局は、変行路を設定して、現在の交番順序のなかで、この回送扱いを行うという取り扱いを一方的に



10.21 小遣拳区制粉碎集会
18時 三河台公園(六本木)

反戦・反核を担う労働運動を

強行した。

これによつて、B六三行路は拘束時間が三時間十三分伸び、運転時間十一時間の長大拘束となつた。また、B五二行路も、一時間延び、朝三時五八分に出勤して十分間一分の拘束になつてゐる。

しかも、B六三からB五三への渡り時間は、自ら乗務員勤務制度に定めた、「前仕業の労働時間Aに等しい時間」すら割り込んでしまつてゐるのである。

われわれは、全てを運転士の労働強化・負担増によつて乗り切ろうとするやり方を断じて認めることはできない。